

研究室名	加藤彰研究室 学会発表
------	--------------------

【発表者について】 アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

発表時期	2024年3月
学会名	公益社団法人自動車技術会関東支部2023年度学術研究講演会
演題名	BEVのワンペダル走行が電費に与える影響 に関する研究
発表者	○ <u>加藤開</u> 、 <u>※藤坂世成</u> 、 <u>※鐘一弘</u> 、 <u>加藤彰</u>
内容	<p>2050年カーボンニュートラルの達成に向け、世界のBEVの販売台数が増加している。BEVの普及に関しては充電設備の普及や、電力の供給量など解決しなければならない課題があり、一充電走行距離も大きな課題の一つである。</p> <p>これまでの研究で、BEVの電費を向上させるには市街地と郊外においては走行車速を上げ、停車時間と加速頻度を減らして一定車速で走行し、高速においては走行車速を下げるのが有効であることが分かった。</p> <p>本研究では主にBEVに付帯しているワンペダル走行が電費に与える影響について解析する。ワンペダル走行とはアクセルペダルの踏み加減を調整するだけで発進、減速、停止までコントロールすることができ、ユーザーの9.52%がワンペダル走行を使用すると、「電費が向上している気がする」と回答している。</p> <p>日本における代表的なBEVを用いて宇都宮市内の実路走行試験を、市街地、郊外、高速に別けてワンペダル機能の有無で実施した。この走行結果を、加速、減速、クルーズ、アイドルの頻度解析の結果からワンペダル走行の有無がBEVの電費特性に与える影響について検討した。</p>
関連画像	